

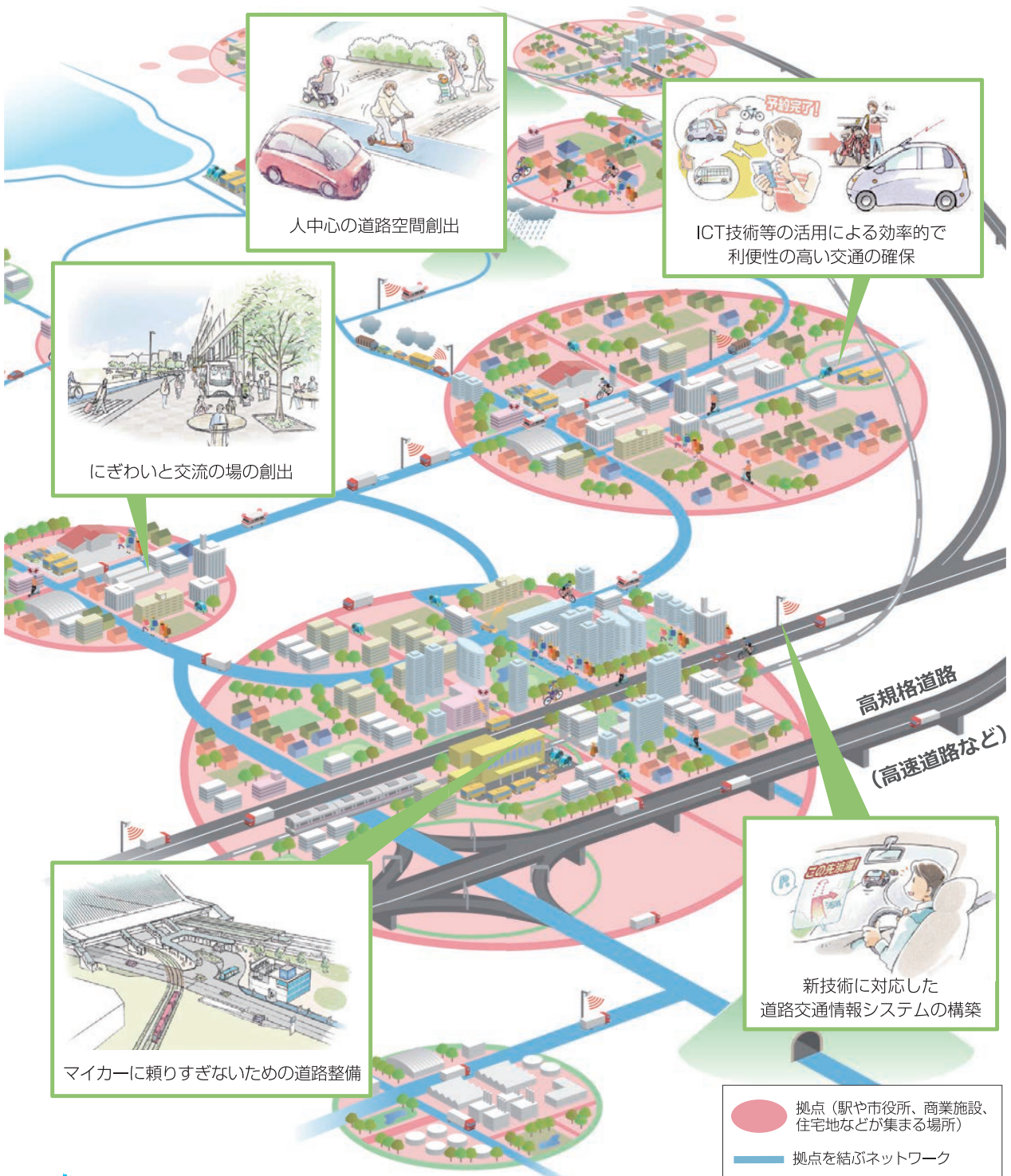
## 道路整備課

### 1 どこでも安全・快適に移動できる道路を目指して

滋賀県では滋賀県都市計画基本方針で掲げている、拠点（駅や市役所、商業施設、住宅地などが集まる場所）を鉄道やバスなどの公共交通で結ぶ「拠点連携型都市構造」の実現を目指しています。

この考えをもとに、すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備を目指しています。具体的には、**拠点間のネットワーク整備（青色の道路）**、**拠点内の道路空間整備（ピンク色の道路）**の2つに分類しています。

また、バイパス整備や現道拡幅、歩道整備など従来進めてきた事業の他にも、今後は、新技術の活用、オープンカフェなど道路に滞在できる空間の整備、バスや鉄道など様々な乗り物に乗り継ぎできる環境の整備も進めます。



## 2 道路整備の取組事例

道路は私たちの生活に欠かせないインフラで、人・モノの往来や交流を促進し、経済を発展させる役割があります。これまでに取り組んできた拠点“間”のネットワーク整備と拠点“内”の道路空間整備の事例を紹介します。

### (1) 拠点“間”のネットワーク整備

拠点を結ぶネットワークの整備では、道路を利用する人が交通事故、渋滞に対して心配なく安全・快適に移動できるような道路を整備しています。



国道422号（大津市）  
集落を抜ける狭い道路から、より広くて走行しやすい道路を整備しました。



五番領安井川線（高島市）  
すれ違いが難しい橋を架け替えて、走行しやすい道路を整備しました。



川合千田線（長浜市）  
集落を結ぶ山間部の狭い道路の幅員を広げ、安全に通行できる道路を整備しました。



愛知川彦根線（彦根市）  
踏切待ちによって渋滞していた道路に対して、立体交差を整備しました。

### (2) 拠点“内”の道路空間整備

拠点内の道路空間の整備では、すべての人が安全で、車と人が共存できる道路空間や街並みと一体となった道路空間を整備しています。



大津能登川長浜線（守山市）  
道路を一方通行にして、歩行空間を広げました。



豊郷停車場線（豊郷町）  
鉄道駅を利用しやすくなるよう、駅前の道路の幅員を広げました。



野洲停車場線（野洲市）  
無電柱化によって、開放感ある景観を形成しました。



八日市停車場線（東近江市）  
市と協力して、歩道上に人が滞在できる賑わいの空間を創出しました。